

第2回 幌延町地域づくりビジョン審議会での意見について(令和4年11月28日)

ご意見等	会場での回答	検討整理	備考
1. 地域づくりビジョンについて			
1-① といかん・みんなの市を開催してみて、多くの効果を実感して次を望む声が出ている。		「“当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト」として、地域の魅力再発見を進めていきます。	
1-② 以前の勤務地の道営住宅では1階に高齢者が上階に若者が入居し、若者が高齢者の見守りなどができる仕組みで参考になる。		「多様な住まいと住み続けプロジェクト」として盛り込み、住まいや見守り機能の参考とします。	
1-③ 考え方はポイントをつかんでうまくまとまっていると思うが、ビジョンを実行するのが難しい。		そのとおりだと考えています。 できるところから諦めずにやっていく必要があると思います。基本計画の推進方策を修正して盛り込みました。	
1-④ ロで言うのは簡単で実行は難しいが担っていくしかない。			
1-⑤ 近年はお金ではなく心の豊かさを求めるようになっていの中で、都会にはない自然、生き方、生活様式など、地域資源は豊富なので、当たり前のものを再発見して、発信して、人が集まってくれるような地域になってほしい。	たくさんの人の賛同ではなく、コアな人に好きになってもらう作戦もある。	「“当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト」として盛り込み、地域の良さを再発見し、地域内外に発信していきます。	
1-⑥ 移住、新規就農、人が集まることが大事、そのネタを探して、育て、発信していくこと。		「自分ごと地域運営プロジェクト」などに盛り込み、地域に魅力を感じる人が集まるよう情報発信していきます。	
1-⑦ 他人事ではなくて、住民が切に考えて掘り下げてビジョンを煮詰めたい。		ビジョンの実現に向けて優先度をつけて取組(重点プロジェクト)を進めます。	
1-⑧ 働く人の定住は住宅不足だけではなく家族の問題もあるので、そういう人の声も拾うべき。		今後、アンケートやヒアリングを通して個別の課題に取り組んでいきます。	
1-⑨ 参加できない人にも確実に進捗状況を周知して意見を聞く仕組みが必要ではないか。		かわら版で状況をお知らせしつつ、将来像についてはアンケートでご意見を集めました。	
1-⑩ 移住の失敗例もよく聞く中で、問寒別地区は移住者を受け入れてくれる寛大な人が多いのが良さだと思う。		ビジョンの課題で「受け入れ力の持続・向上」を加えました。	

ご意見等	会場での回答	検討整理	備考
1-⑪ 地域づくりでは、産業振興が重要で、基幹産業である農業や建設業が元気になる方策が一番重要だと思う。		基幹産業の下支えに向けて地域でできることを引き続き検討していきます。	
1-⑫ 子どもたちは地域が好きで、人数は少ないけど人のつながりが強く自然豊かなこの地域で安心して遊べる環境にあるのは、地域の見守りあってのこと。子どもがいなくなれば学校も無くなり、地域も衰退するので、少しでも人が住んでもらえることが大切。		ビジョンの中で「未来につなぐ子どもたちの想い」として子どもWSの内容を反映させ、「子どもは地域で育むプロジェクト」に問寒別らしい子育て環境を盛り込みました。	
1-⑬ 移住者との接点があり無いため、誰とも交流できる場が欲しいと思う。		「ごちゃまぜプロジェクト」として盛り込み、いろんな人が気軽に集まれるたまり場づくりを検討します。	
2. 地域運営組織について			
2-① 住民が地域運営を担うにあたっては、雪下ろしや草刈りなど、事故の対応や資格の有無が心配。仲良しクラブのように思える。仕事でやるからには責任を持つ必要がある。	仕事でやるからには責任を持つことになりました。	事故の対応、資格有無などの課題を整理し、地域事業者様でできることと地域運営組織でできることの棲み分けなどを検討します。	
2-② ビジョンと現実とのギャップを感じる。地域活動を持続するために、浅く広く簡素化しているのに、新たな仕組みを作るとなると、限られた人への負担が集中するのではないか。たくさんの方が少しずつ汗をかく発想が必要ではないか。	今の構図は、限られた人への負担が集中しており、たくさんの方が少しずつ汗をかく発想。色々なグループがそれぞれにやっていることを一緒にやるとかの工夫が必要かもしれない。	地域運営組織が特定の人に負担が集中しないための方策となるよう仕組みを検討していきます。	
2-③ 地域運営組織は移住者が中心になると思うが、地域の想いは10年程度住んでみて初めて何となく理解できるものだと思うので、入ってきて1年目の人が、10年目のような気持ちで活動を担うのは難しい。		移住者と地元住民が融合しながら地域をより良い形に創っていけるような仕組みができるよう地域全体で考えていきたいです。	

ご意見等	会場での回答	検討整理	備考
2-④ 地域運営組織で雇用を生むのは難しいのでは。	現在役場がやっている業務を委託してもらって安定収入にするという稼ぎ方が既に成立している地域もあります。	小さい仕事を寄せ集めることと、公共施設等の管理の委託等で雇用は生まれる可能性があると考えています。役場職員のプロジェクトチームで地域運営組織に移行可能な活動を洗い出し、まとまった収入として雇用を創出できないか、また、役場で生まれた余力を地域のためにどう活用するか検討しています。	
2-⑤ 収入として300万円以上をどうやって稼ぐのか。			
2-⑥ 住民主体でいろいろなことやることになっているが役場の役割はどうなっていくのですか。	これからビジョンの中で役場の役割・位置づけを考えていきたい。	住民主体の地域づくりにおいて、役場は後方支援的な役割が重要になると考えていますが、役場が直接やるべき業務は継続します。	
2-⑦ 地域で必要なことを町内会などでやっている。人が少なくなったけど、なんとか継続できるように一生懸命やっている、どれも大切で必要なこと。		地域にとって大切で重要なことを継続できるよう、地域運営組織で応援できるような仕組みを検討します。	
2-⑧ ビジョンの文章にカタカナが多くて高齢者などは理解しにくい。	カタカナの置き換えなど検討します。	できるだけカタカナを置き換え修正しました。日本語で表現しにくいものはかっこ書きとして説明を加えました。	
2-⑨ 連合町内会の再編に道が開けつつある。	連合町内会長を廃止するという改革は画期的な取り組み。		
2-⑩ 老人クラブの会員が減って会の存続が困難。事故のことを考えると安易に仕事を請けるのが良いことなのか疑問に感じている。		既存の地域団体等で担えなくなった地域活動を代替する担い手が地域運営組織だと考えています。	